

事業所向け介護給付費縦覧審査確認表記入例

平成23年4月

山梨県国民健康保険団体連合会

<目次>

1. 介護給付費縦覧審査とは	5
2. 介護給付費縦覧審査の流れ	5
3. 介護給付費縦覧審査確認表の例	6
4. 事業所向け縦覧帳票の例	7
5. サービス提供日／入所日確認表	10
6. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について	13

＜縦覧点検出力事由の一覧＞

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に番号が表示されます	
14	算定	貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	福祉用具貸与（特地加算・小規模加算・中山間加算）	*01	貸与開始月
16	算定	入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	初期加算	*02	入所日から
18	算定	短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります（複数事業所の日数超過）	短期入所	*05	最大連続入所日数
20	-	サービス提供日／入所日確認表の記入例 (短期入所サービスの例)			
22	算定	入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります	介護療養施設（退院時加算、退院前連携加算）	*08	退所につき（入所1月超） 退所につき又は1月につき
24	算定	都道府県から訪問介護サービス提供者数の届出がありません	訪問介護 (初回加算)	*09	新規計画作成時
26	算定	退院（所）日又は認定日から1ヶ月超の場合に請求している可能性があります	訪問リハビリ (短期集中リハ加算)	*10	リハビリテーション
	算定	退院（所）日又は認定日から1ヶ月以内又は3ヶ月超の場合に請求している可能性があります	通所リハビリ (短期集中リハ加算、個別リハ加算)		
	算定	退院（所）日又は認定日から3ヶ月超の場合に請求している可能性があります			
	算定	退院（所）日又は認定日から3ヶ月以内の場合に請求している可能性があります			

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に番号が表示されます	
28	算定	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	介護保健施設 (短期集中リハ加算、 認知症短期集中リハ加算)	*10	リハビリテーション
30	算定	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			
32	算定	入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所していません			
34	算定	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています			
36	算定	認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から2ヶ月超に算定しています	居宅療養管理指導 (看護職員等)	*14	サービス提供開始後2月
38	算定	介護保険施設を退所した実績がありません	居宅介護支援 (退院退所加算)	*16	退院退所加算
40	算定	介護保険施設の入所実績がありません			
42	算定	施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定しています			
44	算定	施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています			
46	算定	介護保険施設への入所期間が30日以内の場合に請求している可能性があります			
48	算定	初回加算を同時に算定しています			

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に番号が表示されます	
50	算定	入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所していません	特定診療費 @05 (初期入院診療管理)	*61	特定診療費 (初期入院診療管理)
	算定	初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています			
52	算定	リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています	特定診療費 @20、@27 (リハビリ計画加算)	*62	特定診療費 (リハビリ計画加算)
54	算定	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)	特定診療費 @52、@55 (短期集中リハ加算、認知症短期集中リハ加算)	*62	特定診療費 (短期集中リハ)
56	算定	入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります (入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)			
58	算定	入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所していません			
60	算定	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	特定診療費 @55 (認知症短期集中リハ加算)		
62	重複	複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します	全サービス	*01	サービス種類間の重複
64	-	サービス提供日/入所日確認表の記入例			
65	-	(居宅サービスの例)			
66	-	(福祉用具貸与サービスの例)			

該当ページ	対象帳票	縦覧点検出力事由	主な対象サービス (予防を含む)	縦覧区分 ※「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に番号が表示されます	
67	-	(短期入所サービスの例)	全サービス	*01	サービス種類間の重複
68	-	(施設サービスの例)			
70	重複	居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています(複数事業所での日数超過)	居宅療養管理指導	*02	居宅療養管理指導重複
72	重複	1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算が複数事業所から請求されています	訪問看護 (緊急時訪問看護加算)	*03	1人1事業所のみ算定可
	重複	1事業所のみ算定可能な特別管理加算が複数事業所から請求されています	訪問看護 (特別管理加算)		
	重複	1事業所のみ算定可能なターミナルケア加算が複数事業所から請求されています	訪問看護 (ターミナルケア加算)		
74	重複	外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています(複数事業所)	特定施設生活介護 (外部利用型サービス)	*04	外部サービス上限単位数
76	居宅支援	サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません(支援事業所向け)	居宅介護支援 介護予防支援	居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表	
78	居宅支援	サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません(請求事業所=給付管理票に記載されているサービス事業所向け)			

1. 介護給付費縦覧審査とは

国保連が行う介護給付費縦覧審査とは、過去に介護給付費を支払った請求について、複数月の請求内容や他の事業所の請求内容を確認して審査を行うものです。国保連が介護給付費縦覧審査を実施した結果に基づいて、保険者及び事業所が請求誤り等のデータについて必要に応じて過誤・再請求を行うことで給付の適正化を図ることを目的としています。

2. 介護給付費縦覧審査の流れ

①国保連から以下の帳票が送付されます。

- ・介護給付費縦覧審査確認表
- ・事業所向け縦覧帳票・・・「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」、「重複請求縦覧チェック一覧表」、「居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表」

②「介護給付費縦覧審査確認表」の内容を確認し、**確認結果を「確認調整結果記入欄」に記入**してください。

※確認方法及び記入例は「4. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について」を参照してください。

※必ず「過誤する・しない」のどちらかに○をつけてください。

③記入した「介護給付費縦覧審査確認表」を提出期限までに山梨県国保連合会介護保険課宛に**郵便**で返送してください。

※添付資料が必要になる場合は一緒に送付してください。

【問合せ先】TEL番号 055-223-2119

④国保連は、返送された「介護給付費縦覧審査確認表」や事業所が過去に提出した請求明細書及び給付管理票に基づいて縦覧審査を行い、保険者へ縦覧審査結果を送付します。

保険者は、国保連から送付された縦覧審査結果を確認し、確認した結果、過誤する必要がある請求については、事業所と調整のうえ、国保連へ過誤申立書を提出します。

⑤事業所は、必要に応じて、過誤された請求を正しい内容に修正して再請求してください。

3. 介護給付費縦覧審査確認表の例

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	
事業所名	
事業所担当者氏名	
連絡先電話番号	

平成〇年〇月縦覧審査分

平成〇年〇月〇日

〇県国民健康保険団体連合会

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。

内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点												
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点												
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点												
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						(確認調整結果記入欄)	過誤					
	確認の観点												

5. サービス提供日／入所日確認表

次ページに添付します。コピーしてご利用ください。

サービス提供日／入所日確認表

対応 番号	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス
	算定・重複			年 月	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前											
午後											
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前											
午後											

サービス実日数		日	外泊日数		日
入所実日数					

(このページは空白です)

6. 介護給付費縦覧審査確認表の対応について

次ページ以降に縦覧点検出力事由ごとの対応について掲載しています。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かいご 太郎	H21.8	17 8001 車いす貸与 特地加算	1	貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています	H21.7	507000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	17 8001 車いす貸与 特地加算	1	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤	過誤 する ・ しない				
	確認の観点	それぞれ別の福祉用具貸与を開始して算定しているか/実日数の記載誤りでないか											

又は

（確認調整結果記入欄） 確認対象情報 H20/8 サービス A 車椅子 H20/8/10 貸与開始 関連情報 H20/7 サービス B 電動車椅子 H20/7/10 貸与開始	過誤 する ・ しない
---	----------------------

福祉用具商品名・貸与開始日を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	備要欄	国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
																				保険者番号	被保険者証 番号	個人番号					
	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	22	H21.7	507000001	サービス事業所 〇 1		2	H21.7.1		現物	*01	17-8001	車いす貸与特地加算	1	100									
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	22	H21.8	507000001	サービス事業所 〇 1		2	H21.8.1		現物	*01	17-8001	車いす貸与特地加算	1	100									

内容・ ・貸与開始月に算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス

・ ・福祉用具貸与・予防福祉用具貸与（特地加算、小規模加算、中山間加算）

報酬算定上の制限

・ ・サービス開始月に1回のみ算定可能なサービスです。

原因・ ・「確認対象情報」と同一のサービスコードによる請求が、前月以前にもある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」には前月以前の同一サービスコードによる請求が表示されます。）

対応・ ・①それぞれ別の福祉用具の貸与を開始して算定しているか確認してください。確認した結果、それぞれ別の福祉用具の貸与を開始していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、「確認対象情報」欄に表示されている福祉用具貸与サービスの福祉用具商品名・貸与開始日及び「関連情報」欄の福祉用具の福祉用具名・貸与開始日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
②確認した結果、サービス実日数の記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊02）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が
 制限回数を超えています

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成22年9月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者01	0000000001 かこ太郎	H21.8	51 6400 福祉施設 初期加算	21	入所（居）日・入院日から算定 可能な加算の合計が制限回数 を超えています	H21.7	5070000001 サービス事業所01	99-9999-9999	51 6400 福祉施設 初期加算	10	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤 する ・ しない					
	確認の 観点	30日超の病院又は診療所への入院後に再入所した 場合か／日常生活自立度はⅢ以上か						(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 ○月○日～○月○日 40日間	過誤 する ・ しない
---	--

医療機関名称・入院期間を
記入してください。

又は

(確認調整結果記入欄) 認知症高齢者自立度 Ⅳ	過誤 する ・ しない
--------------------------------	--

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準
ランクを記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所〇1		

平成 21年 8月 提供分

平成〇年〇月〇日
 県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	基本情報		事業所番号	事業所名称	事業所 様式 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 領通	難病 区分	明細／特定情報			国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 （開始年月日）	備考	
						サービス 提供年月	事業所名称								サービス 又は識別番号※3	サービス名 称	日数/ 回数	単位数	摘要欄	保険者番号					被保険者証 番号
	501001	保険者〇1	0000000001	イゴ 知ウ	21	H21.7	H21.8	5070000001	サービス事業所〇1	8	H21.7.20		現物	*02	51-6400	福祉施設初期加算	10	30				50100001	00000001		
1	501001	保険者〇1	0000000001	イゴ 知ウ	21	H21.8	H21.9	5070000001	サービス事業所〇1	8	H21.7.20		現物	*02	51-6400	福祉施設初期加算	21	30				50100001	00000001		

内容・入所（居）日・入院日から算定可能な加算の合計が制限回数を超えています

対象サービス・初期加算

報酬算定上の制限

- ・入所年月日（小規模多機能型居宅介護の場合は開始年月日）から30日以内で最大30回算定可能なサービスです。
 ただし、併設の短期入所等から施設に引き続き入所した場合には、30日から短期入所の利用日数を差し引いた日数に限り算定可能です。
 また、介護福祉施設、地域密着型介護福祉施設、小規模多機能型居宅介護の場合は、30日を超える医療機関への入院後に再入所した場合も算定可能です。
 認知症対応型共同生活介護、介護福祉施設、介護保健施設の場合は、過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。
 （認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクⅢ、Ⅳ、Ⅴの者は過去1ヶ月以内。）

原因・「確認対象情報」のサービス提供年月の前3ヶ月間に、同一入所（院）年月日の請求があり、入所日から退所日までの期間が30日を超えている場合に出力されます。前月以前の請求や、引き続き入所している分も合算されます。
 （「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。請求明細書に記入されている入所年月日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に表示されます。）

- 対応・①30日超の病院又は診療所への入院後に再入所した場合か確認してください。確認した結果、30日超の入院後に再入所していたことが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②認知症高齢者の日常生活自立度がⅢ以上か確認してください。確認した結果、Ⅲ以上であって、かつ、過去1ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がない場合は、「確認調整結果記入欄」欄に、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ③確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊05）
「縦覧点検出力事由」欄
短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります（複数事業所の日数超過）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かご 太郎	H21.8	21 2113 併設短期生活 I 1・夜減	19	短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります（複数事業所の日数超過）	H21.7	*****	*****	21 2113 併設短期生活 I 1・夜減	21
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 過誤 する ・ しない				
	確認の観点	いずれの請求が誤りか							（確認調整結果記入欄） この欄への記入は不要です。 する ・ しない			

又は

（確認調整結果記入欄）	過誤
この欄への記入は不要です。	する ・ しない

「サービス提供日/入所日確認表」を添付して国保連へ返送してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

増設後 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	種別 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定 サービス名称	日数 回数	単位数	請求額	国民健康保険				備考
																				保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 保険者番号 ※4	
	501001	保険者 〇 1	0000000001	かご 太郎	21	H21.7	H21.8	*****	*****	3	H21.7.10		現物	*05	21-2113	併設短期生活 I 1・夜減	21	602						
1	501001	保険者 〇 1	0000000001	かご 太郎	21	H21.8	H21.9	5070000001	サービス事業所 〇 1	3	H21.7.21	H21.8.19	現物	*05	21-2113	併設短期生活 I 1・夜減	19	602						

内容・・短期入所の連続日数が30日を超えている可能性があります（複数事業所の日数超過）

報酬算定上の制限

- ・・短期入所サービスは連続して30日を超えて算定することはできません。

原因・・前月入所から当月退所までの期間が30日を超える場合に出力されます。

前月以前の請求や、他の事業所から引き続き入所している分の請求の日数も合算されます。

（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・自分の事業所のサービス提供状況や入所状況を確認し、「サービス提供日／入所日確認表」に記入してください。（記入例は次ページを参照）

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「サービス提供日／入所日確認表」を添付して、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送してください。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

- 「サービス提供日／入所日確認表」は11ページをコピーしてご利用ください。
- 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例は次ページ以降を参照してください。



ポイント！ 短期入所等と施設等の請求明細書の退所日の記載方法

短期入所と施設等とでは請求明細書の退所日の記載方法が異なります。

	短期入所等	施設等	備考
	様式3、3の2 様式4、4の2 様式5、5の2 様式6の5、6の6	様式6～6の4 様式8、9、10	
入所日	前月から継続して入所している場合はその入所日を記載、その他の場合は当該月の最初の入所日を記載する	同左	-
退所日	月末日において入所継続中の場合は記載不要。当該月に退所した場合は <u>月の最初の退所日</u> を記載する。	月末日において入所継続中の場合は記載不要。当該月に退所した場合は <u>月末に一番近い退所日</u> を記載する。	短期入所の連続入所が30日を超える場合は30日目を退所日とみなして記載する。

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入してください

サービス提供日／入所日確認表

「サービス提供日／入所日確認表」
(短期入所サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・重複	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H20年8月	21 短期入所生活介護

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前											
午後											

サービス実日数	19 日	外泊日数	日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけてください。
入所日には「入」、退所日には「退」と記入してください

(このページは空白です)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分*08）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者〇1	0000000001 かこ'たろ	H21.8	53 2852 療養型退院 時指導加算	1	入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 入所年月日記載誤りのため過誤	過誤				
	確認の観点	医療機関における入院と通算して1月を超えるか							する ・ しない				

又は

（確認調整結果記入欄） 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ しない
---------------------------------------	----------------------

医療機関名称・入院期間を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所〇1		

平成 21年 8月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

増設 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	基本情報			事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所(期) 年月日※1	退所(期) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報 サービス名称	日数/ 回数	単位数	換算率	国民健康保険				備考		
					要介護 状態区分	サービス 提供年月	サービス 提供年月													保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 保険者番号 ※4		後期高齢者 保険者番号 ※4	認定有効期間 (開始年月日)
1	501001	保険者〇1	0000000001	かこ'たろ	22	H21.8	H21.9	5070000001	サービス事業所〇1	9	H21.8.1	H21.8.20	現物	#08	53-2852	療養型退院時指導加算	1	400					50100001	00000001		

内容・・入院期間が1ヶ月以下の場合に請求している可能性があります

対象サービス

・・介護療養施設（退院時加算、退院前連携加算）

報酬算定上の制限

・・入所（院）期間が1ヶ月を超えている場合に、退所時に1回算定可能なサービスです。

原因・・請求明細書に記入されている入所年月日から退所年月日までの期間が1ヶ月を超えていない場合に出力されます。

（請求明細書に記入されている入所年月日は、「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」に表示されます。）

対応・・①医療機関の入院期間と通算して1ヶ月を超えている場合か確認してください。確認した結果、1ヶ月を超える入院であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。

②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分*09）
 「縦覧点検出力事由」欄
 都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かごたの	H21.8	11	4001	都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	請求事業所のサービス提供責任者数の状況を確認							する ・ しない				

又は

（確認調整結果記入欄） サービス提供責任者 介護花子 訪問日 〇月〇日	過誤 する ・ しない
---	----------------------

サービス提供責任者の訪問日（同行日）を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

増設 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	基本情報				明細 / 特定情報				国民健康保険			備考											
					要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所 (院) 年月日※1	退所 (院) 年月日※2	贈与/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名 称		回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)		
1	501001	保険者 〇 1	0000000001	かごたの	21	H21.8	H21.9	5070000001	サービス事業所 〇 1		2			現物	*09	11-4001	訪問介護初回加算	1	200				50100001	00000001			サービス提供責任者なし

内容・・都道府県から訪問介護サービス提供責任者数の届出がありません

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称
11	4001	訪問介護初回加算
61	4001	予防訪問介護初回加算

報酬算定上の制限

- ・・サービス提供責任者が、初回訪問時もしくは初回訪問日の属する月に、訪問又は同行した場合に、算定可能な加算です。

原因・・都道府県が国保連に登録している「事業所台帳」の訪問介護サービス提供責任者数が0人又は未登録である場合に出力されます。
(「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の備考欄に「サービス提供責任者なし」と表示されます。)

- 対応・・①サービス提供責任者が訪問又は同行していることを確認してください。確認した結果、サービス提供責任者が訪問又は同行していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」にサービス提供責任者の訪問日又は同行日を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②①に該当する場合は、事業所が都道府県へ申請した際のサービス提供責任者数の記入誤り、又は、都道府県が国保連へ事業所を登録する際の誤り・登録忘れ等の可能性がありますので、サービス提供責任者が正しく登録されているか都道府県へ照会してください。
- ③確認した結果、請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
「縦覧点検出力事由」欄
退院（所）日又は認定日から1ヶ月超（1ヶ月以内
又は3ヶ月超／3ヶ月超／3ヶ月以内）の場合に請
求している可能性があります

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かいご 太郎	H21.8	16 5602 通所リハ短 期集中リハ 加算 1	3	退院（所）日又は認定日から 1 ヶ月超の場合に請求している 可能性があります	H21.7	***** *****	***** *****	51 介護福祉施 設		
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。 請求誤りのため過誤											
	確認の 観点	リハビリテーション実施日が利用条件（1月以内 ／1月超3月以内／3月以内／3月超）を満たし ているか 医療機関の退院後であるか確認 摘要 欄の記載内容を確認							過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) 起算日 病院の退院日（国保病院） 〇月〇日 加算の算定日 4日、6日、8日	過誤 する ・ しない
---	--------------------------

起算日の種類（病院退院日／施設退所日
／認定日）と起算日の年月日と加算の算
定日を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□国民健康保険団体連合会

増設 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	種別 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報			国民健康保険		後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考			
																サービス名称	日数 回数	単位数	摘要欄	保険者番号					被保険者証 番号	個人番号	
	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	22	H21.7	H21.8	*****	*****		8	H21.7.1		現物	*10	51	介護福祉施設					50100001	00000001	H17.12.1			
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	22	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		2			現物	*10	16-5602	通所リハ短期集中リハ加 算 1	3	280	20090720				50100001	00000001	H17.12.1	

内容・・退院（所）日又は認定日から1ヶ月超（1ヶ月以内又は3ヶ月超／3ヶ月超）の場合に請求している可能性があります

報酬算定上の制限

- ・・病院又は施設を退院（所）した日又は認定日から起算して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード	サービス略称	利用条件（算定可能な期間）	
14	5001	訪問リハ短期集中加算1	退院（所）日又は認定日から1月以内
14	5002	訪問リハ短期集中加算2	退院（所）日又は認定日から1月超3月以内
16	5602	通所リハ短期集中リハ加算1	退院（所）日又は認定日から1月以内
16	5603	通所リハ短期集中リハ加算2	退院（所）日又は認定日から1月超3月以内
16	6111	通所リハ個別リハビリ加算	退院（所）日又は認定日から3月超
64	5001	予防短期集中リハ加算	退院（所）日又は認定日から3月以内

原因・・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・①リハビリテーション実施日が利用条件（算定可能な期間）を満たしているか確認してください。確認した結果、利用条件を満たしていることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、起算日の種類（病院退院日／施設退所日／認定日）と起算日の年月日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。
(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報				
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かごたの	H21.8	52 6253 保健施設認 知症短期集 中リハ加算	3	入所日から3ヶ月超で請求し ている可能性があります(入所 日から指定サービス提供年月 までが3ヶ月目)					
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤				
	確認の 観点	リハビリテーション実施日を確認 摘要欄の記載 内容を確認						する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
入所日 〇月〇日 加算の算定日 4日、6日、8日	する ・ しない

入所日と加算の算定日を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名 称	日数/ 回数	単位数	摘要欄	国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
																				保険者番号	被保険者証 番号	個人番号					
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かごたの	24	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		9	H21.5.15		現物	*10	52-6253	保健施設認知症短期集中 リハ加算	3	240	20990515				50100001	00000001		

内容・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)

報酬算定上の制限

- ・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード		サービス略称	利用条件 (算定可能な期間)
5 2	6 2 5 2	保健施設短期集中リハ加算	入所日から3月以内
5 2	6 2 5 3	保健施設認知症短期集中リハ加算	入所日から3月以内

原因・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の「入所(院)年月日」欄に表示されます。

- 対応・
- ①リハビリテーション実施日が入所日から3ヶ月以内であるか確認してください。確認した結果、3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。
（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者〇1	000000001 カゴトウ	H21.8	52 6253 保健施設認 知症短期集 中リハ加算	3	入所日から3ヶ月超で請求し ている可能性があります（入所 日から指定サービス提供年月 までが3ヶ月超）						
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。											
	確認の 観点	再入所しているか 摘要欄の記載内容を確認											

（確認調整結果記入欄）
過誤
請求誤りのため過誤
する
・
しない

又は

（確認調整結果記入欄）
再入所日 ○月○日
加算の算定日 16日、18日、20日
過誤
する
・
しない

再入所日と加算の算定日を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所〇1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報			国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 （開始年月日）	備考		
																サービス名	日数/ 回数	単位数	摘要欄	保険者番号	被保険者証 番号					個人番号	
1	501001	保険者〇1	000000001	カゴトウ	24	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所〇1		9	H21.3.1		現物	*10	52-6253	保健施設認知症短期集中 リハ加算	3	240	20090301				50100001	00000001		

内容・入所日から3ヶ月以降に請求している可能性があります。(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)

報酬算定上の制限

- ・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

サービスコード		サービス略称	利用条件(算定可能な期間)
52	6252	保健施設短期集中リハ加算	入所日から3月以内
52	6253	保健施設認知症短期集中リハ加算	入所日から3月以内

原因・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の「入所(院)年月日」欄に表示されます。

- 対応・
- ①入退所を繰り返している場合は、再入所した日から3ヶ月以内であるか確認してください。確認した結果、再入所日から3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所して
います

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 太郎	H21.8	52 6252 保健施設短 期集中リハ 加算	1	入所日から過去3ヶ月以内に 同じ施設に入所しています	H21.6	507000001	99-9999-9999	52		
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。						（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	再入所しているか 摘要欄の記載内容を確認						過誤 する ・ しない					

又は

（確認調整結果記入欄）	過誤
国保病院入院 入院期間 〇月〇日～〇月〇日 再入所日 〇月〇日	する ・ しない

施設／医療機関名、入院期間、再入所日
を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所（脱） 年月日※1	退所（脱） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報			国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 （開始年月日）	備考			
																	サービス名称	日数/ 回数	単位数	摘要欄	保険者番号	被保険者証 番号					個人番号		
	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.6	H21.7	507000001	サービス事業所 〇 1		9	H21.5.1	H21.6.20	現物	※10	52	介護保健施設							50100001	00000001				
1	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		9	H21.8.5		現物	※10	52-6252	保健施設短期集中リハ加算	1	240	20090620						50100001	00000001		

内容・入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています

対象サービス・

サービスコード		サービス略称
52	6252	保健施設短期集中リハ加算

報酬算定上の制限

- ・過去3ヶ月間に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。
ただし、以下のような場合には、算定することができます。

平成21年4月改定関係Q&A VOL1 (問100) 入退院や転棟を繰り返している場合の短期集中リハビリテーション実施加算の算定はどうか。 (答) 同一の老人保健施設や介護療養型医療施設に再入所(院)した場合、退所(院)日から3ヶ月経過していなければ再算定できない。ただし、別の施設・医療機関等に入所(院)した場合は、この限りではない。 なお、 ①短期集中リハビリテーション実施加算の算定途中に別の医療機関に入院したため、退所(院)となった後に同一の施設に再入所した場合、再入所時には、短期集中リハビリテーション実施加算を算定すべきだった3ヶ月の残りの期間については、短期集中リハビリテーション実施加算を再算定することができる。 ②短期集中リハ算定途中又は終了後3ヶ月に満たない期間に4週間以上の入院後に同一の施設に再入所した場合であって、短期集中リハビリテーションの必要性が認められる者に限り、短期集中リハビリテーション実施加算を再度算定することができる。
--

原因・過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
(「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。)

対応・①別の施設・医療機関に入所(院)した後、同じ施設に再入所した場合か確認してください。確認した結果、再入所であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、施設名/医療機関名、入院期間を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊10）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 太郎	H21.8	52 6253 保健施設認知症短期集中リハ加算	1	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	H21.5	***** *****	***** *****	52 6253 保健施設認知症短期集中リハ加算	1	
	確認の観点	利用者の自己都合（体調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなった場合か											
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)		過誤
〇月〇日～〇月〇日 脳血管疾患のため入院 認知症リハが必要と医師が判断したため		する ・ しない

加算を算定している理由を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
 □□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 様式 番号	入所（限） 年月日※1	退所（限） 年月日※2	現物/ 償還	居宅 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	請求額	国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
																				保険者番号	被保険者証 番号	個人番号					
	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	23	H21.5	H21.6	*****	*****		9	H21.4.1	H21.5.10	現物	※10	52-6253	保健施設認知症短期集中リハ加算	1	240	20090501				50100001	00000001		
1	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	23	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		9	H21.8.1		現物	※10	52-6253	保健施設認知症短期集中リハ加算	1	240	20090810				50100001	00000001		

内容・過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

対象サービス・

サービスコード		サービス略称
52	6253	保健施設認知症短期集中リハ加算

報酬算定上の制限

- ・利用者が過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定している場合は、算定できない加算です。

ただし、以下のような場合には、算定することができます。

平成21年4月改定関係Q&A VOL2

(問42)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能に直接影響を与える疾患を来し、その急性期の治療のために入院となった場合の退院後の取扱い如何。

(答)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能低下を来す中枢神経疾患を発症、その急性期に治療のために入院し、治療終了後も入院の原因となった疾患の発症前と比し認知機能が悪化しており、認知症短期集中リハビリテーションの必要性が認められる場合に限り、入院前に利用していたサービス、事業所に関わらず、介護老人保健施設、介護療養型医療施設においては入所(院)した日から起算して新たに3月、通所リハビリテーションにおいては利用開始日から起算して3ヶ月以内に限り算定できる。

原因・過去3ヶ月間(4月サービスの場合、1・2・3月)に認知症短期集中リハ加算を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には過去3ヶ月間の同一のサービスが表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

対応・①過去3ヶ月間に同一の加算の請求があるが、加算を算定している理由を確認してください。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	506000001
事業所名	訪問看護ステーションO1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分*14）
「縦覧点検出力事由」欄
認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画
費作成届出年月日から2月超に算定しています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者O1	000000001 カゴタロウ	H21.8	31 1261 看護職員居 宅療養	1	認定有効期間開始年月日又は 居宅サービス計画費作成届出 年月日から2月超に算定して います						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない					
	確認の 観点	サービス実施日を確認 摘要欄の記載内容を確認											

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤 する ・ しない
居宅サービス提供開始日 ○月○日 居宅療養管理指導実施日 ○月○日	する ・ しない

居宅サービスの提供を開始した日と居宅
療養管理指導実施日を記入してくだ
さい。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	506000001	事業所状態	
事業所名	訪問看護ステーションO1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	基本情報			事業所番号	事業所名称	事業所 種別	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	摘要欄	国民健康保険			後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 保険者番号 ※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考
						保険者番号	被保険者証 番号	個人番号																			
1	501001	保険者O1	000000001	カゴタロウ	21	H21.8	H21.9	506000001	訪問看護ステーションO1	2				現物	*14	31-1261	看護職員居宅療養	1	400	1						H21.4.1	居宅サービス計画 作成後届出

内容・・認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から2月超に算定しています

対象サービス

- ・・居宅療養管理指導（看護職員等）、予防居宅療養管理指導（看護職員等）

報酬算定上の制限

- ・・居宅サービスの提供を開始してから2月の間に1回を限度として、算定できるサービスです。

原因・・認定有効期間開始年月日又は居宅サービス計画費作成届出年月日から起算して2月を超えている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

（居宅サービス計画費作成届出年月日から起算して2月を超えている場合には、算定期間回数制限縦覧チェック一覧表の「認定有効期間（開始年月日）」欄に「居宅サービス計画費作成届出年月日」が表示されます。「備考」欄には「居宅サービス計画作成依頼届出」と表示されます。）

- 対応・・①居宅サービスの提供を開始した日と居宅療養管理指導実施日を確認してください。確認した結果、居宅サービスの提供を開始した日から2月以内に請求していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
「縦覧点検出力事由」欄
介護保険施設を退所した実績がありません

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 太郎	H21.8	43 6127 居宅支援退 院退所加算 II	1	介護保険施設を退所した実績 がありません	H21.7	***** *****	***** *****	53 介護医療施 設		
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤							過誤				
	確認の 観点	退所しているか、病院又は診療所への入院があるか							する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄) 国保施設 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ しない
--	----------------------

施設名称・入所期間を記入してください。

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ しない
--	----------------------

医療機関名称・入院期間を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所01		

平成 21年 8月 提供分

平成〇年〇月〇日
 □県国民健康保険団体連合会

基 本 情 報										明 細 / 特 定 情 報				国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考							
確認表 対応番号	証記帳 保険者番号	証記帳 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	請求年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	経費 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考
	501001	保険者01	0000000001	かいご かつ	22	H21.7	H21.8	*****	*****		10	H21.7.1		現物	*16	53	介護医療施設							50100001	00000001		
1	501001	保険者01	0000000001	かいご かつ	22	H21.8	H21.9	5070000001	支援事業所01		7			現物	*16	43-6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	1	600					50100001	00000001		

内容・・介護保険施設を退所した実績がありません

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
43 6126	居宅支援退院退所加算Ⅰ	入所（院）期間が30日以下
43 6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	入所（院）期間が30日超

報酬算定上の制限

- ・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・介護保険施設の入所実績はあるが、退所実績がない場合に出力されます。

（「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・①介護保険施設の退所にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、介護保険施設退所時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に施設名称・入所期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②医療機関の退院にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ③確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
「縦覧点検出力事由」欄
介護保険施設の入所実績がありません

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かご 太郎	H21.8	43 6126 居宅支援退 院退所加算 I	1	介護保険施設の入所実績が ありません						
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。											
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか											

(確認調整結果記入欄)
請求誤りのため過誤
する
・
しない

又は

(確認調整結果記入欄)
国保病院
〇月〇日～〇月〇日 40日間
する
・
しない

医療機関名称・入院期間を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は課別番号※3	明細 / 特定情報			国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考			
																	サービス名称	日数/ 回数	単位数	換算額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	50100001	00000001		介護入所実績なし		
1	501001	保険者 〇 1	0000000001	かご 太郎	22	H21.8	H21.9	507000001	支援事業所 〇 1		7			現物	*16	43-6126	居宅支援退院退所加算 I	1	400										

内容・・介護保険施設の入所実績がありません

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
43	6126	居宅支援退院退所加算Ⅰ	入所（院）期間が30日以下
43	6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	入所（院）期間が30日超

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・介護保険施設の入所実績がない場合に出力されます。

- 対応・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
「縦覧点検出力事由」欄
施設入所時に在宅入所相互利用加算を算定して
います

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 0 1	000000001 かご 太郎	H21.8	43 6126 居宅支援退 院退所加算 I	1	施設入所時に在宅入所相互 利用加算を算定しています	H21.7	***** *****	***** *****	51 6279 福祉施設在 宅入所相互 利用加算	2	
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか											
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 請求誤りのため過誤 過誤 する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)		過誤
国保病院 ○月○日～○月○日 40日間		する ・ しない

医療機関名称・入院期間を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所 0 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成○年○月○日
□□県国民健康保険団体連合会

基 本 情 報										明 細 / 特 定 情 報										国民健康保険			後期高齢者 保険者番号 ※4		後期高齢者 被保険者 番号※4		認定有効期間 (開始年月日)	備考
確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	審小審 状態区分	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所 (期) 年月日※1	退所 (期) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
1	501001	保険者 0 1	000000001	かご 太郎	23	H21.7	H21.8	*****	*****		8	H21.5.1	H21.7.25	現物	*16	51-6279	福祉施設在宅入所相互 利用加算	2	30					50100001	00000001			
	501001	保険者 0 1	000000001	かご 太郎	23	H21.8	H21.9	507000001	支援事業所 0 1		7			現物	*16	43-6126	居宅支援退院退所加算 I	1	400					50100001	00000001			

内容・・施設入所時に在宅・入所相互利用加算又は試行的退所サービス費を算定しています

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
43 6126	居宅支援退院退所加算Ⅰ	入所（院）期間が30日以下
43 6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	入所（院）期間が30日超

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・介護福祉施設の在宅入所者相互利用加算の請求がある場合に出力されます。

（「関連情報」欄には在宅・入所者相互利用加算又は介護保健施設の試行的退所サービス費の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、

「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月 縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
 「縦覧点検出力事由」欄
 施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
 内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	0000000001 かこ 太郎	H21.8	43 6127 居宅支援退 院退所加算 Ⅱ	1	施設退所後既に居宅サービス 計画費を算定しています	H21.6	***** *****	***** *****	51 介護福祉施 設		
		(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 請求誤りのため過誤						過誤 する ・ しない	H21.7	5070000001 支援事業所 〇 1	99-9999-9999	43 居宅介護支 援	
	確認の 観点	病院又は診療所への入院があるか											

又は

(確認調整結果記入欄) 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	過誤 する ・ しない
---	---------------------------------

医療機関名称・入院期間を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5070000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所 0 1		

平成 21年 8月 提供分

平成〇年〇月〇日
 □県国民健康保険団体連合会

基 本 情 報										明 細 / 特 定 情 報				国民健康保険			後期高齢者		認定有効期間	備考						
確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	請求年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	経費 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名称	日数/ 回数	単位数	摘要欄	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	
	501001	保険者 0 1	0000000001	カゴヲウ	22	H21.6	H21.7	*****	*****	8	H21.5.1	H21.6.25	現物	*16	51	介護福祉施設							50100001	00000001		
	501001	保険者 0 1	0000000001	カゴヲウ	22	H21.7	H21.8	5070000001	支援事業所 0 1	7			現物	*16	43	居宅介護支援							50100001	00000001		
1	501001	保険者 0 1	0000000001	カゴヲウ	22	H21.8	H21.9	5070000001	支援事業所 0 1	7			現物	*16	43-6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	1	600					50100001	00000001		

内容・・・施設退所後既に居宅サービス計画費を算定しています

対象サービス・・・

サービスコード	サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
4 3 6 1 2 6	居宅支援退院退所加算Ⅰ	入所（院）期間が30日以下
4 3 6 1 2 7	居宅支援退院退所加算Ⅱ	入所（院）期間が30日超

報酬算定上の制限

- 施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・・施設退所後、既に居宅サービス計画費の請求がある場合に出力されます。

（「関連情報」欄には施設と居宅サービス計画費の請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・・①医療機関の退院にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、

「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。

②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
 「縦覧点検出力事由」欄
 介護保険施設への入所期間が30日以内の場合
 に請求している可能性があります

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かご 太郎	H21.8	43 6127 居宅支援退 院退所加算 II	1	介護保険施設への入所期間が 30日以内の場合に請求して いる可能性があります	H21.7	***** *****	***** *****	53	介護医療施設	
	確認の観点	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							過誤				
	病院又は診療所への入院があるか								請求誤りのため過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
国保病院 〇月〇日～〇月〇日 40日間	する ・ しない

医療機関名称・入院期間を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
 〇〇県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	サービス 状態区分	サービス 提供年月	算定年月	事業所番号	事業所名称	請求 番号	入所 (期) 年月日※1	退所 (期) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報 サービス名称	日数/ 回数	単位数	請求額	国民健康保険			後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
																				保険者番号	被保険者証 番号	個人番号					
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かご 太郎	23	H21.7	H21.8	*****	*****	10	H21.7.1	H21.7.25	現物	*16	53	介護医療施設							50100001	00000001			
	501001	保険者 〇 1	000000001	かご 太郎	23	H21.8	H21.9	507000001	支援事業所 〇 1	7			現物	*16	43-6127	居宅支援退院退所加算II	1	600						50100001	00000001		

内容・・介護保険施設への入所期間が30日以内の場合に請求している可能性があります

対象サービス・・

サービスコード		サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
43	6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ	入所（院）期間が30日超

報酬算定上の制限

- ・・30日を超える入所（院）の退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・介護保険施設の入所期間が30日以下の場合に出力されます。

（「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

- 対応・・①医療機関の30日を超える入院の退院にあたって算定している場合か確認してください。確認した結果、医療機関退院時に算定していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に医療機関名称・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	支援事業所 0 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分＊16）
「縦覧点検出力事由」欄
初回加算を同時に算定しています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 0 1	000000001 かご 太郎	H21.8	43 6126 居宅支援退 院退所加算 I	1	初回加算を同時に算定してい ます	H21.8	507000001 支援事業所 0 1	99-9999-9999	43 4001 居宅支援初 回加算	1	
	確認の 観点	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄)				
	要介護状態区分が2区分以上変更された場合か								過誤 する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	
要介護状態変更日 〇月〇日 国保病院 〇月〇日～〇月〇日 20日間	過誤 する ・ しない

要介護状態区分の変更日、
医療機関名称・入院期間を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	支援事業所 0 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
〇〇県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	基本情報		事業所番号	事業所名称	請求 番号	入所(退) 年月日※1	退所(退) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	明細 / 特定情報			国民健康保険			後期高齢者 証保険者番号 ※4	後期高齢者 証保険者番号 ※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考		
					要介護 状態区分	サービス 提供年月								サービス 名称	日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号					個人番号	
1	501001	保険者 0 1	000000001	かご 太郎	23	H21.8	H21.9	507000001	支援事業所 0 1	7			現物	*16	43-4001	居宅支援初回加算	1	300				50100001	00000001		
	501001	保険者 0 1	000000001	かご 太郎	23	H21.8	H21.9	507000001	支援事業所 0 1	7			現物	*16	43-6126	居宅支援退院退所加算 I	1	400				50100001	00000001		

内容・・初回加算を同時に算定しています

対象サービス・・

サービスコード	サービス略称	利用条件（入所（院）期間）
43	6126	居宅支援退院退所加算Ⅰ
43	6127	居宅支援退院退所加算Ⅱ

報酬算定上の制限

- ・・施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を新規に作成した月に算定できます。ただし、居宅介護支援初回加算や介護老人福祉施設の在宅入所相互利用加算を算定している場合は算定できません。

原因・・居宅支援退院退所加算と居宅支援初回加算を同じサービス提供年月に算定している場合に出力されます。
（「関連情報」欄には居宅支援初回加算の実績が表示されます。）

- 対応・・①要介護状態区分が2区分以上変更された場合か確認してください。確認した結果、以下のaとbの両方を実施していることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に要介護状態区分の変更日、医療機関名・入院期間を記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- a. 要介護状態区分が2区分以上変更され、居宅サービス計画を作成した。
 - b. 施設・医療機関からの退所（院）にあたって、施設・医療機関と連携して居宅サービス計画を作成した。
- （aとbの両方を実施している例）
- 8月10日 介護保険施設を退所。施設と連携して居宅サービス計画を作成。
 - 8月20日 要介護状態区分が要介護1→要介護3へ変更。変更後に居宅サービス計画を再作成。
- ②確認した結果、記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 61）
 「縦覧点検出力事由」欄
 入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かいご 知	H21. 8	53 @05 初期入院診療管理	1	入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています	H21. 7	507000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	53	介護医療施設	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の観点	認知症高齢者自立度ランクがⅢ、Ⅳ又はⅤに該当するか						（確認調整結果記入欄） 過誤 する・しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 認知症高齢者自立度 M	過誤 する・しない
----------------------------	--------------

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
 □□国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報				国民健康保険		後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考	
																サービス名称	日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	個人番号					
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 知	22	H21. 8	507000001	サービス事業所 〇 1		10	H21. 7. 1	H21. 7. 20	現物	*61	@05	介護医療施設	1	250								

内容・・入院日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています／初期入院診療管理の合計が制限回数を超えています

報酬算定上の制限

- ・・入院時に1回及び入院後6ヶ月以内に診療方針に重要な変更があった場合はさらに1回（入院後6ヶ月以内に最大2回）算定可能なサービスです。ただし、過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。（認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクⅢ、Ⅳ、Mの者は過去1ヶ月以内。）

原因・・過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
または、過去6ヶ月以内の初期入院診療管理の算定回数の合計が2回を超えている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

- 対応・・①認知症高齢者の日常生活自立度がⅢ以上か確認してください。確認した結果、Ⅲ以上であって、かつ、過去1ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がない場合は、「確認調整結果記入欄」に、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランクを記入して、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
- ②確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
「縦覧点検出力事由」欄
リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴダウ	H21.8	23 @20 理学療法リ ハビリ計画 加算	1	リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています	H21.7	507000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	23 @20 理学療法リ ハビリ計画 加算	1	
	確認の 観点	再入所、又は、再認定された場合か		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。			（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤	過誤 する ・ しない					

又は

（確認調整結果記入欄） 再入所日 〇月〇日 加算の算定日 16 日	過誤 する ・ しない
---	----------------------

再入所日と加算の算定日を
記入してください。

又は

（確認調整結果記入欄） 再認定日 〇月〇日 加算の算定日 16 日	過誤 する ・ しない
---	----------------------

再認定日と加算の算定日を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所01		

平成 21年 8月 提供分

平成〇年〇月〇日
 国民健康保険団体連合会

基 本 情 報										明 細 / 特 定 情 報				国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考							
確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	請求年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	経費 区分	サービス 又は識別番号※3	サービス名 称	日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考
	501001	保険者01	000000001	かごたの	23	H21.7	H21.8	507000001	サービス事業所01		5	H21.7.25		現物	*62	@20	理学療法リハビリ計画加算	1	480							H20.1.1	
1	501001	保険者01	000000001	かごたの	23	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所01		5	H21.7.25		現物	*62	@20	理学療法リハビリ計画加算	1	480							H20.1.1	

内容・・・リハビリ計画加算の合計が制限回数を超えています

報酬算定上の制限

- ・・・病院・施設等を退院・退所した日もしくは認定を受けた日から初めて利用した月に限り1月に1回算定できます。

原因・・・リハビリ計画加算の請求が、前月以前にもある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

- 対応・・・
- ①入退所を繰り返している場合、再入所した日から初めて利用した月であるか確認してください。確認した結果、再入所した月であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日とリハビリ計画加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ②再認定を受けている場合か確認してください。確認した結果、再認定を受けた月であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再認定日とリハビリ計画加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ③確認した結果、入退所日等の記載誤りや請求内容の誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。
(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 太郎	H21.8	53 @52 短期集中リ ハビリ加算	1	入所日から3ヶ月超で請求している 可能性があります(入所 日から指定サービス提供年月 までが3ヶ月目)						
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。											
	確認の 観点	リハビリテーション実施日を確認											

(確認調整結果記入欄)
過誤
請求誤りのため過誤
する
・
しない

又は

(確認調整結果記入欄)
過誤
入所日 〇月〇日
加算の算定日 4日
する
・
しない

入所日と加算の算定日を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	基本情報				明細 / 特定情報				国民健康保険			後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 保険者番号 ※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考							
						サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	日数/ 回数	単位数					調整欄	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号			
1	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		10	H21.5.15		現物	*62	@52	短期集中リハビリ加算	1	240								

内容・入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月目)

報酬算定上の制限

- ・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

特定診療費識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
52	短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の入院(所)なし)
55	認知症短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の算定なし)

原因・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の「入所(院)年月日」欄に表示されます。

- 対応・
- ①リハビリテーション実施日が入所日から3ヶ月以内であるか確認してください。確認した結果、3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 52）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から3ヶ月超で請求している可能性があります。
（入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 太郎	H21.8	52 @52 短期集中リ ハビリ加算	1	入所日から3ヶ月超で請求している 可能性があります（入所 日から指定サービス提供年月 までが3ヶ月超）						
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 請求誤りのため過誤					
	確認の 観点	再入所しているか						する ・ しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
再入所日 〇月〇日	する ・ しない
加算の算定日 20日	

再入所日と加算の算定日を
記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	基本情報				明細 / 特定情報				国民健康保険			後期高齢者 保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考							
						サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 種別 番号	入所(院) 年月日※1	退所(院) 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	日数/ 回数					単位数	調整欄	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号		
1	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.8	H21.9	507000001	サービス事業所 〇 1		10	H21.3.1		現物	*62	@52	短期集中リハビリ加算	1	240								

内容・入所日から3ヶ月以降に請求している可能性があります。(入所日から指定サービス提供年月までが3ヶ月超)

報酬算定上の制限

- ・入所日から算定して以下の期間内に算定可能なサービスです。

特定診療費識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
5 2	短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の入院(所)なし)
5 5	認知症短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の算定なし)

原因・「確認対象情報」のサービスコードが、算定可能な期間外に請求されている場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
入所日は「算定期間回数制限縦覧チェック一覧表」の「入所(院)年月日」欄に表示されます。

- 対応・
- ①入退所を繰り返している場合は、再入所した日から3ヶ月以内であるか確認してください。確認した結果、再入所日から3ヶ月以内であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、再入所日と加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
 - ②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
「縦覧点検出力事由」欄
入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所して
います

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 かいご 太郎	H21.8	53 @52 短期集中リ ハビリ加算	1	入所日から過去3ヶ月以内に 同じ施設に入所しています	H21.6	507000001 サービス事業所 〇 1	99-9999-9999	53	介護医療施 設	
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右 に記入してください。							(確認調整結果記入欄) 過誤 する ・ しない				
	確認の 観点	再入所しているか、又は、利用者の自己都合（体 調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなっ た場合か							又は (確認調整結果記入欄) 国保病院入院 入院期間 ○月○日～○月○日 再入所日 ○月○日 過誤 する ・ しない				

施設／医療機関名、入院期間、再入所日
を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	様式 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報				国民健康保険		後期高齢者 被保険者番号 ※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考		
																日数/ 回数	単位数	請求額	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号						
	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	24	H21.6	H21.7	5070000020	サービス事業所 〇 1		10	H21.5.1	H21.6.20	現物	*62	53	介護医療施設										
1	501001	保険者 〇 1	000000001	かいご 太郎	24	H21.8	H21.9	5070000020	サービス事業所 〇 1		10	H21.8.5		現物	*62	@52	短期集中リハビリ加算	1	240								

内容・入所日から過去3ヶ月以内に同じ施設に入所しています

対象サービス・

特定診療費識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
52	短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3ヶ月以内(過去3月の入院(所)なし)

報酬算定上の制限

- ・過去3ヶ月間に同じ施設に入所した実績がある場合は算定できません。
ただし、以下のような場合には、算定することができます。

平成21年4月改定関係Q&A VOL1

(問100)

入退院や転棟を繰り返している場合の短期集中リハビリテーション実施加算の算定はどうか。

(答)

同一の老人保健施設や介護療養型医療施設に再入所(院)した場合、退所(院)日から3ヶ月経過していなければ再算定できない。ただし、別の施設・医療機関等に入所(院)した場合は、この限りではない。

なお、

- ①短期集中リハビリテーション実施加算の算定途中に別の医療機関に入院したため、退所(院)となった後に同一の施設に再入所した場合、再入所時には、短期集中リハビリテーション実施加算を算定すべきだった3ヶ月の残りの期間については、短期集中リハビリテーション実施加算を再算定することができる。
- ②短期集中リハ算定途中又は終了後3ヶ月に満たない期間に4週間以上の入院後に同一の施設に再入所した場合であって、短期集中リハビリテーションの必要性が認められる者に限り、短期集中リハビリテーション実施加算を再度算定することができる。

原因・過去3ヶ月以内に同じ施設に入所した実績がある場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
(「関連情報」欄には介護保険施設の入所実績が表示されます。)

対応・①別の施設・医療機関に入所(院)した後、同じ施設に再入所した場合か確認してください。確認した結果、再入所であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、施設名/医療機関名、入院期間を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。
②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 22 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝算定（縦覧区分 * 62）
 「縦覧点検出力事由」欄
 過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数
1	算定	501001 保険者 〇 1	000000001 カゴ 太郎	H21.8	53 @55 認知症短期集中リハビリ加算	1	過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています	H21.5	***** *****	***** *****	53 @55 認知症短期集中リハビリ加算	1
	確認の観点	利用者の自己都合（体調悪化）等やむを得ず算定要件が満たせなくなった場合か					（確認調整結果記入欄） 請求誤りのため過誤	過誤 する ・ しない				
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。											

又は

（確認調整結果記入欄） 〇月〇日～〇月〇日 脳血管疾患のため入院 認知症リハが必要と医師が判断したため	過誤 する ・ しない
---	----------------------

加算を算定している理由を記入してください。

算定期間回数制限縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	サービス事業所 〇 1		

平成 21 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日
□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	要介護 状態区分	サービス 提供年月	事業所番号	事業所名称	事業所 様式 番号	入所（院） 年月日※1	退所（院） 年月日※2	現物/ 償還	縦覧 区分	サービス 又は識別番号※3	明細 / 特定情報			国民健康保険			後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)	備考		
															サービス名称	日数/ 回数	単位数	保険者番号	被保険者証 番号	個人番号	後期高齢者 被保険者 番号※4	後期高齢者 被保険者 番号※4	認定有効期間 (開始年月日)			
	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.5	H21.6	*****	*****		10	H21.5.1	H21.6.20	現物	*62	@55	認知症短期集中リハビリ加算	1	240							
1	501001	保険者 〇 1	000000001	カゴ 太郎	24	H21.8	H21.9	507000020	サービス事業所 〇 1		10	H21.8.5		現物	*62	@55	認知症短期集中リハビリ加算	1	240							

内容・・過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定しています

対象サービス・・

特定診療費識別番号	特定診療費略称	サービス利用条件
55	認知症短期集中リハビリ加算	入院(所)日から3月以内(過去3月の算定なし)

報酬算定上の制限

- ・・利用者が過去3ヶ月以内に認知症短期集中リハ加算を算定している場合は、算定できない加算です。

ただし、以下のような場合には、算定することができます。

平成21年4月改定関係Q&A VOL2

(問42)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能に直接影響を与える疾患を来し、その急性期の治療のために入院となった場合の退院後の取扱い如何。

(答)

認知症短期集中リハビリテーション実施中又は終了後3ヶ月に満たない期間に、脳血管疾患等の認知機能低下を来す中枢神経疾患を発症、その急性期に治療のために入院し、治療終了後も入院の原因となった疾患の発症前と比し認知機能が悪化しており、認知症短期集中リハビリテーションの必要性が認められる場合に限り、入院前に利用していたサービス、事業所に関わらず、介護老人保健施設、介護療養型医療施設においては入所(院)した日から起算して新たに3月、通所リハビリテーションにおいては利用開始日から起算して3月以内限り算定できる。

原因・・過去3ヶ月間(4月サービスの場合、1・2・3月)に認知症短期集中リハ加算を請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。

(「関連情報」欄には過去3ヶ月間の同一のサービスが表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク(*)で表示されます。)

対応・・①過去3ヶ月間に同一の加算の請求があるが、加算を算定している理由を確認してください。確認した結果、正当な理由であることが判明した場合は、「確認調整結果記入欄」に、理由を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。

②確認した結果、記載誤りや請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	サービス事業所01
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分*01）
 「縦覧点検出力事由」欄
 複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものについて、内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成□年□月□日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	重複	501001 保険者01	0000000001 カゴトウ	H20.8	14 訪問リハビリ	8	複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します	H20.8	***** *****	***** *****	52 介護保健施設	25	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							（確認調整結果記入欄） 過誤					
	確認の観点	いずれの請求が誤りか						請求誤りのため過誤 する ・ しない					

又は

居宅介護支援
介護予防支援以外の
サービスの場合

（確認調整結果記入欄） この欄への記入は不要です	過誤 する ・ しない
------------------------------------	-----------------------------

「サービス提供日/入所日確認表」を添付して国保連へ返送してください。

又は

居宅介護支援
介護予防支援の場合

（確認調整結果記入欄） サービス提供を行った事業所 5070000002 事業所02 10日 5070000003 事業所03 30日	過誤 する ・ しない
---	-----------------------------

サービス提供を行った事業所の事業所番号・事業所名・サービス提供日数を記入してください。

重複請求縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号		507000001		事業所状態																							
事業所名		サービス事業所 0 1																									
確認表 列記番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	支援事業所 番号	支援事業所名称	格式 番号	開始年月日 入所年月日※ 3	退所年月日 ※3	実日数 ※1※3	受給可能 日数※2※3	現物/ 償還	サービス	サービス名称	単位数 ※4	日数/ 回数※ 4	サービス 単位数	備考	平成〇年〇月〇日 □県国民健康保険団体連合会			
1	501001	保険者 0 1	0000000001	おたけの	H20.8	H20.9	5070000001	サービス事業所 0 1		5070000002	支援事業所 0 2	2			8	32	現物	14	訪問リハビリ			4.000					
	501001	保険者 0 1	0000000001	おたけの	H20.8	H20.9	*****	*****				9	H20.8.6		25		現物	52	介護保健施設			17.550					

内容・・複数サービスの合計日数が受給可能日数を超えている、又は同時算定不可なサービスが存在します

原因・・請求された日数の合計が、利用者の当該月でのサービスを受けられる日数（＝受給可能日数）より大きい場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。他のサービス、他の事業所の分の請求の日数も合算されます。（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・・①「確認対象情報」の「サービス」が居宅介護支援、介護予防支援以外のサービスの場合

自分の事業所のサービス提供状況や入所状況を確認し、「サービス提供日／入所日確認表」に記入してください。（記入例は次ページを参照）
 確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。
 確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「サービス提供日／入所日確認表」を添付して、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送してください。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

②「確認対象情報」の「サービス」欄が居宅介護支援、介護予防支援の場合

該当の利用者の、サービス事業所のサービス提供状況、施設入所状況を確認してください。
 確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。
 確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に「サービス提供を行ったサービス事業所の事業所番号、事業所名、サービス提供日数を記入し、「過誤しない」に○をつけて国保連へ返送してください。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

■ 「サービス提供日／入所日確認表」は11ページをコピーしてご利用ください。
 ■ 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例は次ページ以降を参照してください。

■ 「サービス提供日／入所日確認表」の記入例

サービス		記入例
11	訪問介護	居宅
12	訪問入浴介護	居宅
13	訪問看護	居宅
14	訪問リハビリ	居宅
15	通所介護	居宅
16	通所リハビリ	居宅
17	福祉用具貸与	福祉用具
21	短期入所生活介護	短期入所
22	短期入所老健施設	短期入所
23	短期入所医療施設	短期入所
24	予防短期生活介護	短期入所
25	予防短期老健施設	短期入所
26	予防短期医療施設	短期入所
31	居宅療養管理指導	居宅
32	認知症型共同生活	施設
33	特定施設生活介護	施設
34	予防療養管理指導	居宅
35	予防特定施設介護	施設
36	地域特定施設介護	施設
37	予防認知症型	施設

サービス		記入例
38	認知症型短期	短期入所
39	予防認知症型短期	短期入所
43	居宅介護支援	提出不要
46	介護予防支援	提出不要
51	介護福祉施設	施設
52	介護保健施設	施設
53	介護医療施設	施設
54	地域老人福祉施設	施設
61	予防訪問介護	居宅
62	予防訪問入浴介護	居宅
63	予防訪問看護	居宅
64	予防訪問リハビリ	居宅
65	予防通所介護	居宅
66	予防通所リハビリ	居宅
67	予防福祉用具貸与	福祉用具
71	夜間対応訪問介護	居宅
72	認知症型通所介護	居宅
73	小規模多機能型	居宅
74	予防認知症型通所	居宅
75	予防小規模多機能	居宅

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入してください

サービス提供日／入所日確認表

「サービス提供日／入所日確認表」
(居宅サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H20年8月	14 訪問リハビリ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前					○						
午後								○			
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前		○							○		
午後					○						
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前						○					
午後		○							○		

サービス実日数	8 日	外泊日数	日
入所実日数			

サービスを提供した時間帯に○をつけてください

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入してください

サービス提供日／入所日確認表

「サービス提供日／入所日確認表」
(福祉用具貸与サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H20年8月	17 福祉用具貸与

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後										○	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

サービス実日数	22 日	外泊
入所実日数		

サービス実日数 (=実際に福祉用具を貸与した日数) を記入してください

福祉用具を貸与した時間帯に○をつけてください

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入してください

サービス提供日／入所日確認表

「サービス提供日／入所日確認表」
(短期入所サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H20年8月	21 短期入所生活介護

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前			○	○	○	○	○	○	○	○	
午後		入	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○			

サービス実日数	18 日	外泊日数	日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけてください。
入所日には「入」、退所日には「退」と記入してください

「介護給付費縦覧審査確認表」の「確認対象情報」欄の内容を記入してください

サービス提供日／入所日確認表

「サービス提供日／入所日確認表」
(施設サービスの記入例)

対応番号	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス
1	算定・ 重複	501001 保険者01	0000000001 カイゴタロウ	H20年8月	51 介護福祉施設

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
午前											
午後											
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
午前			○	○	○	外	外	外	○	○	
午後		入	○	○	○	外	外	外	○	○	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
午前	○	○	○	○	○	○	○	○	退		
午後	○	○	○	○	○	○	○	○			

サービス実日数	15 日	外泊日数	3 日
入所実日数			

入所している時間帯に○をつけてください。
入所日には「入」、退所日には「退」、外泊日には「外」と記入してください

(このページは空白です)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	501000001
事業所名	医療機関〇1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を
記入してください。

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分*02）
「縦覧点検出力事由」欄
居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。
内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応 番号	確認対象情報							関連情報					
	対象 帳票	証記載 証記載保険者名	被保険者 被保険者名	サービス 提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス 提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数	
1	重複	501001 保険者〇1	000000001 かこ太郎	H20.8	31 1111 居宅療養管理指導 I	2	居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）	H20.8	*****	*****	31 1111 居宅療養管理指導 I	2	
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							過誤					
	確認の 観点	いずれの請求が誤りか							請誤りのため過誤 <input checked="" type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
算定日 8月1日、10日	<input type="checkbox"/> する ・ <input checked="" type="checkbox"/> しない

居宅療養管理指導の算定日を
記入してください。

重複請求縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	501000001	事業所状態	
事業所名	医療機関〇1		

平成 20 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日

〇〇県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者 番号	被保険者 氏名	サービス 提供年月	審査年月	事業所 番号	事業所 名称	事業所 状態	支援事業所 番号	支援事業所 名称	様式 番号	開始年月日 入所年月日※ 3	退所年月日 ※3	実日数 ※1※3	委託可能 日数※2※3	現物/ 償還	サービス	サービス 名称	単位数 ※4	日数/ 回数※ 4	サービス 単位数	備考
1	501001	保険者〇1	000000001	かこ太郎	H20.8	H20.9	501000001	医療機関〇1				2					現物	31-1111	居宅療養管理指導 I	500	2	1,000	
	501001	保険者〇1	000000001	かこ太郎	H20.8	H20.9	*****	*****				2					現物	31-1111	居宅療養管理指導 I	500	2	1,000	

内容・・居宅療養管理指導の合計回数が制限回数を超えています（複数事業所での日数超過）

報酬算定上の制限

- ・・居宅療養管理指導の制限回数は以下のとおりです。

行う者	制限回数
医師	月 2 回
歯科医師	月 2 回
医療機関の薬剤師	月 2 回 (末期の悪性腫瘍の者のみ月 8 回)
薬局の薬剤師	月 4 回 (末期の悪性腫瘍の者のみ月 8 回)
管理栄養士	月 2 回
歯科衛生士	月 4 回
看護職員	月 1 回

原因・・ 1 人の利用者の居宅療養管理指導の請求が制限回数を超える場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
他の事業所の請求の回数も合算されます。
(「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク (*) で表示されます。)

対応・・ 自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認してください。
確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。
確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に居宅療養管理指導の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。(国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	5060000001
事業所名	訪問看護ステーションO1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分*03）
 「縦覧点検出力事由」欄
 1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算（特別管理加算／ターミナルケア加算）が複数事業所から請求されています

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成○年○月○日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報					
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/回数	
1	重複	501001 保険者O1	0000000001 かごたろ	H20.8	13 3100 緊急時訪問看護加算1	1	1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算が複数事業所から請求されています	H20.8	***** *****	***** *****	13 3200 緊急時訪問看護加算2	1	
		上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。						過誤					
	確認の観点	いずれの請求が誤りか						請求誤りのため過誤 <input checked="" type="radio"/> する ・ <input type="radio"/> しない					

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
算定日 8月10日	<input type="radio"/> する ・ <input checked="" type="radio"/> しない

加算の算定日を記入してください。

重複請求縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	5060000001	事業所状態	
事業所名	訪問看護ステーションO1		

平成 20 年 8 月 提供分

平成○年○月○日

□□県国民健康保険団体連合会

確認表対応番号	証記載保険者番号	証記載保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	サービス提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所状態	支援事業所番号	支援事業所名称	様式番号	開始年月日 入所年月日※3	退所年月日 ※3	実日数 ※1※3	委託可能 日数※2※3	現物/償還	サービス	サービス名称	単位数 ※4	日数/回数 ※4	サービス単位数	備考
1	501001	保険者O1	0000000001	かごたろ	H20.8	H20.9	5060000001	訪問看護ステーションO1		5070000002	支援事業所O2	2					現物	13-3100	緊急時訪問看護加算1	540	1	540	
	501001	保険者O1	0000000001	かごたろ	H20.8	H20.9	*****	*****		5070000002	支援事業所O2	2					現物	13-3200	緊急時訪問看護加算2	290	1	290	

内容・ ・ 1事業所のみ算定可能な緊急時訪問看護加算（特別管理加算／ターミナルケア加算）が複数事業所から請求されています

報酬算定上の制限

・ ・ 以下のサービスは、1人の利用者に対して1つの事業所のみ算定できるサービスです。

サービス種類	加算名
訪問看護 予防訪問看護	緊急時訪問看護加算
	特別管理加算
	ターミナルケア加算

原因・ ・ 1人の利用者に対して2つ以上の事業所が請求している場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。
（「関連情報」欄には他の事業所の情報がアスタリスク（*）で表示されます。）

対応・ ・ 自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認してください。
確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。
確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「確認調整結果記入欄」に加算の算定日を記入し、「過誤しない」に○をつけて返送してください。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	特定施設 O 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝重複（縦覧区分*04）
 「縦覧点検出力事由」欄
 外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています（複数事業所）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものについて、内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	重複	501001 保険者 O 1	000000001 カゴ'タロ	H20.8	33 1612 外部訪問リハ2	20	外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています（複数事業所）	H20.8	*****	*****	33 1612 外部訪問リハ2	20
	上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。							(確認調整結果記入欄)		過誤		
	確認の観点	いずれの請求が誤りか		請求誤りのため過誤				する ・ しない				

又は

(確認調整結果記入欄)	過誤
請求誤りなし	する ・ しない

自分の事業所の請求誤りの有無を記入してください。

重複請求縦覧チェック一覧表（請求事業所）

事業所番号	507000001	事業所状態	
事業所名	特定施設 O 1		

平成 20 年 8 月 提供分

平成〇年〇月〇日

□□県国民健康保険団体連合会

確認表 対応番号	証記載 保険者番号	証記載 保険者名	被保険者番号	被保険者氏名	サービス 提供年月	審査年月	事業所番号	事業所名称	事業所 状態	支援事業所 番号	支援事業所名称	様式 番号	開始年月日 入所年月日※3	退所年月日 ※3	末日数 ※1※3	受給可能 日数※2※3	現物/ 償還	サービス	サービス名称	単位数 ※4	日数/ 回数※4	サービス 単位数	備考
1	501001	保険者 O 1	000000001	カゴ'タロ	H20.8	H20.9	507000001	特定施設 O 1				6-3	H18.5.10				現物	33-1612	外部訪問リハ2	450	20	9,000	上限超(16689)
	501001	保険者 O 1	000000001	カゴ'タロ	H20.8	H20.9	*****	*****				6-3	H18.5.21				現物	33-1612	外部訪問リハ2	450	20	9,000	上限超(16689)

内容・・外部利用型サービスの合計が外部サービス利用型上限単位数を超えています（複数事業所）

報酬算定上の制限

- ・・特定施設入居者生活介護の外部サービス利用型の1人あたりの1ヶ月の上限単位数は以下のとおりです。

要介護状態区分	外部サービス利用型上限単位数
要支援1	4,970単位
要支援2	10,400単位
要介護1	17,358単位
要介護2	19,486単位
要介護3	21,614単位
要介護4	23,712単位
要介護5	25,870単位

原因・・1人の利用者の外部利用型サービスの合計が上限単位数を超える場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。他の事業所が請求した単位数も合算されます。

（「関連情報」欄には合算されている請求が表示されます。他の事業所の情報はアスタリスク（*）で表示されます。請求明細書に記入されている単位数は「重複請求縦覧チェック一覧表」に表示されます。）

対応・・自分の事業所のサービス提供実績を確認し、請求内容の誤りがないか確認してください。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りであった場合は、「過誤する」に○をつけて国保連へ返送してください。

確認した結果、自分の事業所の請求誤りでない場合は、他の事業所の請求との確認が必要になりますので、「過誤しない」に○をつけて返送してください。（国保連にて他の事業所の請求内容を確認した結果、過誤になる場合があります。）

介護給付費縦覧審査確認表（支援事業所）

事業所番号	5070000001
事業所名	支援事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝居宅支援
 「縦覧点検出力事由」欄
 サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません（支援事業所向け）

下記は貴事業所が計画した給付管理票に紐づく介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

□□県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報									関連情報						
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数回数
1	居宅支援	501001	0000000001	H20.8	5070000001	99-9999-9999	43	2111		サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません	H20.8	5070000002	22-2222-2222	11		無
		保険者 〇 1	かこ 〇 〇		支援事業所 〇 1	居宅支援 I 1	サービス事業所 〇 2	訪問介護								
	(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 サービス提供実績 無し										H20.8	5070000002	22-2222-2222	12		無
確認の観点	利用実績があるか、月遅れ請求ではないか									過誤 する ・ しない						

又は

事業所番号	電話番号	サービス		日数回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス		日数回数
5070000001	99-9999-9999	43	2111		サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません	H20.8	5070000002	22-2222-2222	11		無
支援事業所 〇 1		居宅支援 I 1				サービス事業所 〇 2	訪問介護				
(確認調整結果記入欄) サービス提供実績 有り					過誤 する ・ しない	H20.8	5070000002	22-2222-2222	12		有

サービス提供実績の有無を記入してください。

居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表(事業所)

支援事業所番号 507000001
 支援事業所名 支援事業所 0 1

平成 20年 8月 提供分

N N99年99月99日

〇〇県国民健康保険団体連合会

サービス計画費情報							給付管理票情報			給付実績情報							
保険者番号	保険者名	証記載 保険者番号	被保険者 番号	被保険者名	審査年月	現物/ 償還	サービス コード	サービス名称	サービス 種類 コード	サービス 事業所番号	サービス事業所名称	計画 単位数	サービス 種類 コード	サービス 事業所番号	サービス事業所名称	現物/ 償還	給付 単位数
501001	保険者 0 1	501001	000000001	がこ 知々	H20.08	現物	43-2111	居宅支援 I 1	11	507000002	サービス事業所 0 2	2.000					
501001	保険者 0 1	501001	000000001	がこ 知々	H20.08	現物	43-2111	居宅支援 I 1	12	507000002	サービス事業所 0 2	2.000					

内容・・・サービス計画費の請求はあるが、給付実績はありません

報酬算定上の制限

- ・・・サービス利用票の作成が行われなかった月及びサービス利用票を作成した月においても利用実績のない月については、給付管理票を作成できないため、サービス計画費は請求できません。

原因・・・サービス計画費の請求はあるが、給付管理票に記載されたサービスの給付実績が1件もない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。「関連情報」欄には給付管理票に記載されているサービスが表示されます。

対応・・・「関連情報」欄に表示されているサービスの提供状況について確認し、「関連情報」の「日数/回数」欄に、それぞれのサービス提供の有無を「有」又は「無」と記入してください。

確認した結果、関連情報欄の全てのサービスが「無」の場合は、「過誤する」に〇をつけて国保連へ返送してください。

確認した結果、「有」のサービスがある場合は、「過誤しない」に〇をつけて返送してください。(国保連にてサービス事業所からの回答内容を確認した結果、過誤になる場合があります。)

介護給付費縦覧審査確認表（請求事業所）

事業所番号	507000001
事業所名	サービス事業所 〇 1
事業所担当者氏名	事業所 太郎
連絡先電話番号	99-9999-9999

平成 21 年 9 月縦覧審査分

確認表記入者の氏名と電話番号を記入してください。

「対象帳票」欄＝居宅支援
「縦覧点検出力事由」欄
サービス計画費の請求はあるが、給付実績はありません（サービス事業所向け）

下記は貴事業所の介護請求明細書について縦覧点検審査処理を行った結果、請求内容に疑義があるものです。内容を確認の上、確認調整結果を記入してください。また、対象帳票が「算定」「重複」の場合は、過誤を「する」・「しない」のいずれかに○を付けて平成〇年〇月〇日までにご返送ください。

〇〇県国民健康保険団体連合会

対応番号	確認対象情報							関連情報				
	対象帳票	証記載保険者番号 証記載保険者名	被保険者番号 被保険者名	サービス提供年月	サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由	サービス提供年月	事業所番号	電話番号	サービス	日数/ 回数
1	居宅支援	501001 保険者 〇 1	0000000001 かごたろう	H20.8	11 訪問介護	無	サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません	H20.8	507000001 支援事業所 〇 1	99-9999-9999	43 居宅支援 I 1	2111
	(確認調整結果記入欄) 上記縦覧審査内容について、貴事業所での確認調整結果を右に記入してください。 該当利用者無し							過誤				
	確認の観点	利用実績があるか、月遅れ請求ではないか						する・しない				

又は

サービス	日数/ 回数	縦覧点検出力事由
11 訪問介護	有	サービス計画費の請求はあるが、給付実績がありません
(確認調整結果記入欄) 請求もれ		過誤
		する・しない

サービス提供実績の有無を記入してください。

確認した状況を記入してください。

※過誤「する・しない」に○をつける必要はありません

居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表(請求事業所)

事業所番号 5070000002 事業所状態

N N 99年99月99日

事業所名称 サービス事業所02

平成 20年 8月 提供分

〇〇県国民健康保険団体連合会

確認表 対応 番号	給付管理票情報								サービス計画費情報						
	サービス 事業所番号	サービス事業所名称	保険者番号	保険者名称	証記載 保険者番号	被保険者 番号	被保険者名	サービス 種類 コード	計画 単位数	支援 事業所番号	支援事業所名称	審査年月	現物/ 償還	サービス コード	サービス名称
1	5070000002	サービス事業所02	501001	保険者01	501001	0000000001	たご ちや	11	2.000	5070100001	支援事業所01	H20.08	現物	432111	居宅支援 I 1

内容・・サービス計画費の請求はあるが、給付実績はありません

報酬算定上の制限

- ・・サービス利用票の作成が行われなかった月及びサービス利用票を作成した月においても利用実績のない月については、居宅支援事業所は給付管理票を作成できないため、サービス計画費は請求できません。

原因・・サービス計画費の請求はあるが、給付管理票に記載されたサービスの給付実績が1件もない場合に、請求内容に疑義があるものとして出力されます。「関連情報」欄には居宅支援事業所のサービス計画費の請求が表示されます。

対応・・「確認対象情報」欄に表示されているサービスの提供状況について確認し、「日数/回数」欄にサービス提供の有無を記入してください。確認した結果、サービスの請求もれの場合は、国保連へ該当のサービスを請求してください。
※過誤「する・しない」に○をつける必要はありません。